



大浜中だより

－保護者と地域の皆様への広報誌－

平成 29 年度

11 月号

掛川市立大浜中学校

－「繋ぐ」－気持ちを、心を、仲間を、繋いだ暁祭(合唱コンクール)

6月に行われた潮風祭のスローガンは、「金字塔－歴史を刻め、団結という名の足跡で－」でした。そして、今回の暁祭のスローガンは、「繋ぐ－後世に引き継ぐ無限の感動－」です。私は、どちらのスローガンも思いが伝わってくる素敵な言葉だと思います。特に今回のスローガンにある「繋ぐ」という言葉はとても好きな言葉です。

「繋ぐ」の意味は、切れたり、離れたりしているものを続け合わせる。また、続いているものをさらに長く続くようにしたり、絶えないようにしたりすることです。つながっていないものがつながる、つながっているものを途切れないようにさらにつなぐ。どちらの意味も、とても素敵です。

同じ空間を生きているクラスの仲間と合唱でつながる、そして先輩が築いてきた本校の合唱を、伝統として、文化として、下級生が繋ぎ、引き継いでいく。

今の大浜中生は、このスローガンに込められた思いを理解し、仲間と歌うことの意味、仲間と共有する時間の価値を、十分に分かってくれると思います。

みなさんの思いが詰まった素敵な合唱を、今日は、私たち教員、保護者、地域の方々に聞かせてください。さあ、大浜中学校暁祭の幕開けです。無限の感動を一緒に味わいましょう。

10月20日(金)、掛川市文化会館シオーネで、本校の合唱コンクールが行われました。上の言葉は、私が開会式で話した一節です。ここ数年、本校では、暁祭のスローガンが造語で創られていました。具体的には、「奏念」「協唱」といった辞書にはない創造の言葉です。これらの言葉は、新鮮で、インパクトがあり、これはこれで、とても素敵な言葉なのですが、一方で「繋ぐ」のような言葉は、造語とは異なり、シンプルだけど、素朴で、素直で、ストレートに伝わりやすいという良さがあります。3年生が選んでくれた「繋ぐ」というスローガンがとても素敵だったので開会式冒頭の挨拶で触れさせてもらいました。言葉の持つ意味、そして言葉に込められた力ってすごいなあと思改めて感じました。また、閉会式での中村日和推進委員長の言葉にも感動しました。新たな暁祭を自分たちの代から築こうと、仲間と取り組んできた



3年最優秀賞 3組「消えた八月」



推進委員長の指揮による全校合唱「絆」

という自負が、言葉の端々から伝わってきました。自分の思いを素直に、誠実に、はっきりと言葉で伝える。それってとても大事だと感じました。これからも「対話 協働 学びあい」の授業と行事を通して、全ての大浜中生が自分の思いを言葉で表現できることを期待しています。

校長：堀内祥行

茶の香りで授業を応援

掛川市文化協会大東支部が香炉設置



茶の香り漂う素敵な
空間の中でギャラリー
を鑑賞！

大浜中生に癒やし提供

掛川市文化協会大東支部（太田和良支部長）は23日、市立天浜中2館の浜中ギャラーに茶の香炉を設置した。昼休みの生徒にリフレッシュと、甘い茶の香りで廊下をいっぱいにした。（掛川）



三日間の職場体験を通して、働くことの意義、楽しさ、大変さ、人との接し方などを学びました。協力いただいた皆さま、ありがとうございます。

大学訪問 静岡大学学部棟前にて記念撮影



大浜中の
卒業生が
ドラフト
1位に！



地域探訪（積水ハウスにて）
グループで近隣の施設等を訪問し、学びを深めました。



三世代交流ボランティア、赤い羽根募金、茶エンナーレへの協力等、様々な形で大浜中生がボランティアに参加し活動が進められました。



11月16日(木)の
午後は、本校のICT
活用研究発表会と
なります。多くの
お客様がお見え
になります。



今後の予定

11月 9、10日：期末テスト 14日：生徒大会 16日：研究発表会
21日：専門委員会 24日：参観懇談会（3年進路説明会）

21 日：専門委員会 24 日：参観懇談会（3年進路説明会）

12月 1日：3年県学力調査 3日：地域防災訓練 11～19日：三者面談
22日：二学期終業式 23～1月8日：冬期休業

22 日：二学期終業式 23～1 月 8 日：冬期休業

